

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

# 教育いちかわ



令和8年2月19日号  
市川市教育委員会

## 体と心をほぐし、夢に向かって考えよう！ ～JFAこころのプロジェクト『夢の教室』～



市川市では、東京地下鉄株式会社（東京メトロ）の支援をいただき、『JFA こころのプロジェクト「夢の教室」』を実施しております。

この教室は、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）の運営のもと、現役のJリーグ、なでしこリーグの選手やOB、OGなどのサッカー関係者、また、他競技の現役選手やOB、OGが、「夢先生」として、自らの経験や思いを語り「夢や目標を持つことの大切さ」、「仲間と協力することの素晴らしさ」等を、活動と講義を通じて子どもたちに伝えることを目的として実施しています。

今年度は、市内の5年生を対象に小学校3校で行われました。その中の1校の様子をお伝えします。

12月2日（火）に塩焼小学校で行われた「夢の教室」では、夢先生として女子ラグビーの黒川碧選手が来校してくださいました。

活動は2時間連続で行われ、1時間目は、体育館でボールを使ったレクリエーションゲームなどを通して、体を動かすことの楽しさやコミュニケーションをとること、協力することの大切さを学び、体とともに心もほぐしていきました。ボール回しゲームでは、児童全員で円になり、円の中心にいる黒川選手が全員とパス交換するまでのタイムを計りました。黒川選手と児童全員でコミュニケーションを図りながら、どのようにしたらタイムを縮めることができるか作戦を立て、最後は協力して目標タイムを上回ることができ、大きな歓声が上がっていました。



2時間目は、教室に場所を移し、夢先生による授業を行いました。黒板には、これまでの夢に向かって頑張っていた時のことや、怪我により挫折を経験した時のことについて、掲示物を用いて「夢曲線」を描き、分かりやすく示していました。夢先生自身が、スポーツを通じて経験した「夢を持つことの大切さ」や、夢を追いかけることを「諦めない」「楽しむ」といったメッセージを、一人一人に真剣な眼差しを送りながら熱く伝えていました。

最後に、子どもたちは配付されたワークシートに、自分の夢や好きなことについての思いを記しました。子どもたちが記したワークシートの内容に対して、夢先生から一人一人に直筆のメッセージが添えられて返却されると聞いて、とても喜んでいました。

今後も、「夢の教室」などの企業との連携を通して、子どもたちの健やかな心の成長を目指すとともに、日々の体力向上につながる取り組みを、これからも積極的に取り組んでいきます。

【保健体育課】

